【学校通信】

平成 30 年 2 月 20 日

第 33 号

西中の風

継続と徹底

伊丹市立西中学校長

大西　規之

～生きる力をくれた「先生のことば」～

前号からの続きです。

18「自信とうぬぼれは紙一重、謙虚とひがみも紙一重」

大学卒業のとき、先生から頂いた言葉です。社会歴20年になりますが、謙虚な気持ちを持ちつつも自信を持って仕事しています。

19「大変な時こそ大きく変えるチャンスの時」

「大変という字は大きく変えると書くんだ。」中学の卒業式で恩師から教えられました。これからも前向きに、困難に立ち向かっていきたいと思います。

20「くちびるに歌を」

小学校の卒業式で音楽の先生から頂いた言葉です。苦しい時、辛いときはいつもこの言葉に助けられました。これからも大事にしたい言葉です。

21「一歩踏み出すにはまず今の足場を固めよ」

中学校を卒業するときに担任の先生から頂いた言葉です。「地に足をつけた生き方をしろ」と教えられました。

22「夜空を見上げなさい」

中学三年生の頃、担任の先生が卒業アルバムに書いてくれたことばです。見た瞬間「キザだな～」と思っていましたが、悩んでいる時、落ち込んだ時に見上げる夜空は優しく私を包んでくれます。

23「辛い事があったら感謝しなさい。”これでまた一つ強くなれます”」

中学の先生が卒業式にくれた言葉です。あの時は「どうして辛いのに感謝しなければいけないの」と思っていたこのことばが、社会人になり、妻になり、母になった今、やっと理解できるようになりました。

24「きつい！と思ったところからが成長だ」

部活の練習中に逃げ出したい気持ちになったときのことです。今がきつくないなら、成長していない証拠！きついって思ったところからが成長なんだ！と励まされました。

25「流れる川は、いつまでも美しい」

ある失敗で、次の行動に移るのが怖くなってしまった私にかけてくれた言葉です。この言葉のおかげで、躊躇した時にも一歩踏み出す勇気をもらえました。

26「進むべき道に迷ったら、困難に思える道を選びなさい」

高校卒業のときの先生のことばです。「困難に思えるという事は、きっと自分が本当にやりたいことだ」とおっしゃっていました。何かに迷ったときはこの言葉に従って行動します。

徹底してやること

業績を上げているある自動車販売店の社長のお話から。「仕事」を「勉強」に置き換えてみてください。

①「つまる」仕事をする

「つまる」か「つまらない」かは、仕事の内容ではなく、人間の心で決まる。知恵と情熱があれば、どんな仕事も「つまる」ものだ。

②「ちょっとだけ」やって、「やった」と言わない。

③ お願いされたら、「はい！よろこんで！！」 依頼されたら、「任せてください！」商いの基本です。

でも、こんな簡単そうなことができている店はなかなかありません。きっと、「なんだ、そんなことか」と思われるかもしれません。

しかし、一流の人は口を揃えて言います。「成功とは、誰にもできそうなことを、誰もが真似できないくらい徹底してやること」だと。

本校ホームページ日々更新中！！是非見てください。